

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509339(P2005-509339A)

【公表日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2003-527589(P2003-527589)

【国際特許分類】

H 04 N 5/44 (2006.01)

H 04 B 1/06 (2006.01)

H 04 N 5/445 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/44 Z

H 04 B 1/06 Z

H 04 N 5/445 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月19日(2005.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の番組に関する番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法であって、視聴することができる複数のチャンネルを含む走査リストの中に、或るチャンネルが、含まれているかどうかを判断するステップと、

前記チャンネルが、前記走査リストの中に含まれていなければ、前記チャンネルに関連する番組ガイド情報を削除するステップと、から成る、前記番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項2】

前記削除するステップが、前記チャンネルに関する番組ガイド情報が、別のチャンネルで使用を予定されているかどうかを判断するステップと、

前記番組ガイド情報が、別のチャンネルで使用を予定されていなければ、前記番組ガイド情報を削除するステップと、

から成る、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項3】

利用することができるチャンネルで、予定されている少なくとも1つの番組に関する追加情報を記憶するステップを含む、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項4】

前記複数の番組のうち少なくとも1つが、衛星と地上放送センターの何れか1つから放送される、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項5】

前記複数の番組の各々が、予め録画された番組、生放送、および広告のうち少なくとも1つを含む、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項6】

前記番組ガイド情報が、アドバンスト番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

イド情報を受けた機器内に適応的に記憶する方法。

【請求項 7】

前記番組ガイド情報を、或るチャンネルに関する番組ガイド情報を含んでいるチャンネル・オブジェクトと、

或る番組スケジュールに関する番組ガイド情報を含んでいるスケジュール・オブジェクトと、

或る番組に関する番組ガイド情報を含んでいる番組オブジェクトと、

から成る、請求項 1 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項 8】

前記削除するステップが、

選択されたチャンネル・オブジェクトに関連する番組オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトにも関連しているかどうかを判断するステップと、

前記番組オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトに関連していなければ、前記番組オブジェクトをメモリから削除するステップと、

前記選択されたチャンネル・オブジェクトを、メモリから削除するステップと、
から成る、請求項 7 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項 9】

前記削除するステップが、

前記選択されたチャンネル・オブジェクトに関連するスケジュール・オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトにも関連しているかどうかを判断するステップと、

前記スケジュール・オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトに関連していなければ、前記スケジュール・オブジェクトを、メモリから削除するステップと、

前記選択されたチャンネル・オブジェクトを、メモリから削除するステップと、
から成る、請求項 7 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

【請求項 10】

番組ガイド情報を含んでいる信号に同調するチューナーと、

前記同調された信号を復調する復調器と、

前記復調された信号を復号化するデコーダと、

復号化された番組ガイド情報、番組ガイド上で見られる少なくとも 1 つのチャンネルの走査リスト、および命令を記憶するメモリと、

プロセッサと、

から成る装置であって、

前記プロセッサは、前記命令を実行すると、

視聴することができる複数のチャンネルを含む走査リストの中に、或るチャンネルが、含まれているかどうかを判断すると共に、前記チャンネルが、前記走査リストの中に含まれていなければ、前記チャンネルに関連する番組ガイド情報を削除するように構成されている、前記番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【請求項 11】

削除のために選択された前記チャンネルが、入力装置を介して供給される、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【請求項 12】

前記番組ガイド情報が、前記番組ガイド上にある他のチャンネルでの使用を予定されなければ、前記番組ガイド情報は、削除される、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【請求項 13】

前記複数の番組のうち前記少なくとも 1 つが、衛星と地上放送センターの何れか 1 つから放送される、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【請求項 14】

前記複数の番組の各々が、予め録画された番組、生放送、および広告のうち少なくとも 1 つから成る、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【請求項 15】

前記番組ガイド情報が、アドバンスト番組ガイド情報から成る、請求項10記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【請求項 16】

複数の番組に関する番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置であって、

視聴することができる複数のチャンネルを含む走査リストの中に、或るチャンネルが、含まれているかどうかを判断する手段と、

前記チャンネルが、前記走査リストの中に含まれていなければ、前記チャンネルに関連する番組ガイド情報を削除する手段と、

から成る、前記番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法および装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の開示は、添付されている図面に関連して以下の詳細な説明を考慮することにより容易に理解することができる。理解を容易にするために、できるだけ同じ参照番号を使用して、各図面に共通している同じ構成要素を表す。

特許請求の範囲と実施例との対応関係を実施例で使われている参照番号を用いて示すと以下の通りである。

(請求項1)

複数の番組に関する番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法であって、

視聴することができる複数のチャンネルを含む走査リストの中に、或るチャンネルが、含まれているかどうかを判断するステップ(606)と、

前記チャンネルが、前記走査リストの中に含まれていなければ、前記チャンネルに関連する番組ガイド情報を削除するステップ(632)と、

から成る、前記番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項2)

前記削除するステップが、前記チャンネルに関する番組ガイド情報が、別のチャンネルで使用を予定されているかどうかを判断するステップ(612)と、

前記番組ガイド情報が、別のチャンネルで使用を予定されなければ、前記番組ガイド情報を削除するステップと、

から成る、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項3)

利用することができるチャンネルで、予定されている少なくとも1つの番組に関する追加情報を記憶するステップを含む、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項4)

前記複数の番組のうち少なくとも1つが、衛星と地上放送センターの何れか1つから放送される、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項5)

前記複数の番組の各々が、予め録画された番組、生放送、および広告のうち少なくとも1つを含む、請求項1記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項 6)

前記番組ガイド情報が、アドバンスト番組ガイド情報から成る、請求項 1 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項 7)

前記番組ガイド情報が、或るチャンネルに関する番組ガイド情報を含んでいるチャンネル・オブジェクト(502)と、

或る番組スケジュールに関する番組ガイド情報を含んでいるスケジュール・オブジェクト(504)と、

或る番組に関する番組ガイド情報を含んでいる番組オブジェクトと、

から成る、請求項 1 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項 8)

前記削除するステップが、

選択されたチャンネル・オブジェクトに関連する番組オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトにも関連しているかどうかを判断するステップ(628)と、

前記番組オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトに関連していなければ、前記番組オブジェクトをメモリから削除するステップ(630)と、

前記選択されたチャンネル・オブジェクトを、メモリから削除するステップ(632)と、

から成る、請求項 7 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項 9)

前記削除するステップが、

前記選択されたチャンネル・オブジェクトに関連するスケジュール・オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトにも関連しているかどうかを判断するステップ(612)と、

前記スケジュール・オブジェクトが、別のチャンネル・オブジェクトに関連していなければ、前記スケジュール・オブジェクトを、メモリから削除するステップ(616)と、

前記選択されたチャンネル・オブジェクトを、メモリから削除するステップ(632)と、

から成る、請求項 7 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する方法。

(請求項 10)

番組ガイド情報を含んでいる信号に同調するチューナ(206)と、

前記同調された信号を復調する復調器(208)と、

前記復調された信号を復号化するデコーダ(210)と、

復号化された番組ガイド情報、番組ガイド上で見られる少なくとも 1 つのチャンネルの走査リスト(222)、および命令(216)を記憶するメモリ(204)と、

プロセッサと、

から成る装置であって、

前記プロセッサは、前記命令を実行すると、

視聴することができる複数のチャンネルを含む走査リストの中に、或るチャンネルが、含まれているかどうかを判断する(606)と共に、前記チャンネルが、前記走査リストの中に含まれていなければ、前記チャンネルに関連する番組ガイド情報を削除する(632)ように構成されている、前記番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

(請求項 11)

削除のために選択された前記チャンネルが、入力装置(214)を介して供給される、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

(請求項 12)

前記番組ガイド情報が、前記番組ガイド上にある他のチャンネルでの使用を予定されなければ、前記番組ガイド情報は、削除される(632)、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

(請求項 13)

前記複数の番組のうち前記少なくとも 1 つが、衛星と地上放送センターの何れか 1 つから放送される、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

(請求項 14)

前記複数の番組の各々が、予め録画された番組、生放送、および広告のうち少なくとも 1 つから成る、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

(請求項 15)

前記番組ガイド情報が、アドバンスト番組ガイド情報から成る、請求項 10 記載の番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。

(請求項 16)

複数の番組に関する番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置であって、視聴することができる複数のチャンネルを含む走査リストの中に、或るチャンネルが、含まれているかどうかを判断する手段 (606) と、

前記チャンネルが、前記走査リストの中に含まれていなければ、前記チャンネルに関連する番組ガイド情報を削除する手段 (632) と、

から成る、前記番組ガイド情報を受像機内に適応的に記憶する装置。